3　小学校での展開例

(1)　題材名「不安やなやみへの対処方法」
(2)　ねらい
○　不安やなやみがあることは自然なことであることを理解する。
○　不安やなやみへの様々な対処方法を知る。
○　困っている友人への関わり方について考える。
○　子供だけで解決できない問題は、信頼できる大人に相談することの大切さを理解する。
(3)　本時の展開

	学習内容及び学習活動	指導上の留意点
導入	1　本時の学習内容や活動を知り、学習のめあてを確認する。	・事前アンケートや全国のアンケート調査結果等を用いて、不安やなやみがあることは、自然なことであることを伝え、対処方法について考えていくことを確認させる。 ＜参考＞ 全国家庭児童調査（厚生労働省:H26） ・不安やなやみがない５６．２％ ・不安やなやみがある４３．８％
	不安やなやみがある時は、どのようにすると良いか考えよう。	
展開	2　不安やなやみを感じた時のことを考え、発表する。 「個人」→「グループ」	・不安やなやみがあることは、自然なことであることを理解させる。
	「困ったなぁ」、「心配だなぁ」などの気持ちになるのは、どんな時だろう。	
		・困ったなぁ　・心配だなぁ ・悲しいなぁ　・つらいなぁ ・いやだなぁ　・どうしよう？ ・たすけて！
	3　不安やなやみを感じた時、どのように対処しているか考え、発表する。 「個人」→「グループ」	・友だちの対処方法を聞くことで、多くの方法があることに気付かせる。
	「困ったなぁ」、「心配だなぁ」などの気持ちを小さくするために、どのようなことをしていますか。	
		・保護者に相談する ・友人に相談する ・運動をする ・音楽を聞く ・ゲームをする
	4　友人がつらそうにしている時、どのように接すると良いか考え、話し合う。 「個人」→「グループ」	・つらそうにしている友人への対応を考えさせることで、自分もつらい時には、相談しても良いことに気付かせる。
	友だちがつらそうにしている時、どのように接すると良いでしょうか。	
		・声をかける ・話をきちんと聞く ・アドバイスをする ・先生に伝える ・保護者に伝える

まとめ	５　感想を聞き、学習のまとめをする。	・子供だけで解決できない問題は、信頼できる大人に相談することを理解させる。 ・保護者 ・学校の先生 （学級担任、養護教諭等） ・スクールカウンセラー ・塾の先生　・習い事の先生 ・警察官　・医師　・地域の方など ・相談窓口を紹介することで、身近な人に相談できない不安やなやみも解決することができることを理解させる。 ・２４時間子供SOSダイヤル ・ひなた子どもネット相談 ・宮崎県子どもＳＮＳ相談 ・子どもの人権SOSミニレター　等

○　不安やなやみがあることは自然なことです。
○　不安やなやみがあっても、様々な対処方法があります。
○　困っている友人がいたら、優しい言動のとれる学級にしましょう。
○　子供だけで解決できない問題は、信頼できる大人に相談しましょう。